

美唄市環境基本計画（素案）に対する意見と市の考え方

区分	意見の要旨	市の考え方
望ましい都市像について	<p>都市像の「豊かな自然、快適な生活、資源を循環利用する社会を共に創り、未来に継承するまち」を「多様な自然、健康で安全な生活、資源を循環利用する社会を共に創り、次世代に継承するまち」に変更 未来に継承するという表現は、課題を先送りにしてしまう語感を与えるので、「未来」ではなく「次世代」とする。</p>	<p>環境基本計画の都市像につきましては、これからの 10 年間に本市における環境に関する目指す姿として、環境審議会の意見により定めたもので、これを尊重したいと考えています。</p>
基本目標について	<p>基本目標 豊かな自然と親しみ共生し、未来に承継するまち 気持ちよく安心して暮らせるまち ごみを減らし、資源を循環利用するまち 地域から地球へ、みんなが未来のために行動するまち みんなで学び、参加し、行動するまち を次のように変更する (1)地域から地球環境の保全に取り組むまち 内容構成としては、第 1 に地球からはじまる。 (2)多様な自然環境が保全され人と自然が共生するまち 豊かな自然より、多様な自然の方が望ましい。 (3)健康で安全に暮らせるまち 気持ちよくという感覚的表現ではなく、「健康」が望ましい。 (4)廃棄物を減らし、資源を循環利用するまち 基本目標のところでは、ごみではなく、廃棄物が望ましい。</p>	<p>環境基本計画の 5 つの基本目標につきましては、その順番や語句に関して様々な考え方があると思いますが、今回は、環境審議会の意見に基づき、組み立てや語句を定めたもので、これを尊重したいと考えています。</p>

	<p>(5)環境保全について学習・行動するま 何を学ぶかを明示することが望ましい。</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl;">その他について</p>	<p>(1) 8P(歴史)「本市は、屯田兵の入植により1890年(明治23年)に沼貝村と誕生し」 この表現では、屯田兵の入植によって沼貝村が誕生したと誤解される。明治23年に9月に沼貝村が発足し、明治24年に沼貝の騎兵村に40戸、砲兵村(光珠内)に30戸、工兵村(茶志内)に30戸の計100戸の屯田兵と家族が移住してきた。沼貝村誕生の後に屯田兵が入植したことを正確に記述する。</p> <p>(2) 102P(水素イオン指数 pH ペーハー) 水素イオン指数又は水素イオン濃度指数とは、物質の酸性、アルカリ性の度合いを示す数値である。pH(potential Hydrogen, power of Hydrogenの略)という記号で表される。pHの読みはピーエイチ(英語読み)またはペーハー(ドイツ語読み)。日本では1957年にpHのJISを制定する際に読みがピーエイチと定められ、現在の法令およびJISではピーエッチと定められているが、ペーハーの読みも年配者を中心に依然用いられる事が多い。特に断らない場合は水溶液中での値を示す。なお、pH=7の場合は中性と呼ばれる。pHが小さくなればなるほど酸性が強いとされ、逆にpHが大きくなればなるほどアルカリ性が強いとされる(出典 ウィキペディア)私の経験からしても、高校時代、水素イオン指数はペーハーと習ったが、正しくはJISで定められた「ピーエイチ」と読むと現在は教えている(2球ボイラー技士試験など)</p>	<p>意見を踏まえ、次の通り修正します。</p> <p>(1) につきましては 「本市は、明治23年に沼貝村として誕生し、その後、屯田兵が入植して農地の開墾等が行われるとともに、炭鉱の開発によりまちが築かれていきました。」に修正します。</p> <p>(2) については pHの読み方を「ピーエイチ」に修正します。</p>